職業実践専門課程の基本情報について

学校名	,]	設置認可年	月日		校長名		所名	E地						
麻生建築& ン専門学		平成9年11月	26日	竹口	コ 伸一郎	〒812-0016 福岡市博多区 (電話)								
設置者:	名	設立認可年	月日	什	弋表者名	所在地								
学校法人「	麻生塾	昭和26年3月	12日	理事長	長 麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市 (電話)								
建築物 建築物	物の計画	連築士、2級建 『、設計、法規 ソコン活用技行	、構造	、インテ	ーリア及び施工	のプロセスな								
分野		課程名		学和	4名	専門士		高	度専門士					
工業	工業	尊門課程		建築コ	工学科	平成25年文語 省告示第3			_					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必 要な総授業時数又 は総単位数		義	演習	実習	実	験	実技					
3 年	昼間	2700	15	00	1230	0	()	0 単位時間					
生徒総定	[員	生徒実員	1	専	任教員数	兼任教員	数	糸	^{半位时间} 総教員数					
120		182		į	5 _,	24		2	.9 _/					
学期制度		: 4月1日~9 :10月1日~3			成績評価	■成績表: ■成績評価の 5段階評価、3	-		出席が必要					
長期休み	■夏	始:4月1日 季:7月27日~ 季:12月25日 末:3月31日			卒業•進級 条件									
生徒指導	■長期	ス担任制: 欠席者への指 構の実施、留年		_	課外活動	■課外活動のボランティア活動のサークル活	舌動	有						
就職等の 状況	建記 ■就職 ■卒業 ■その 進学	率 ^{※1} : 者に占める就 : : : : : :	100 戦者の害 52.9 業者にほ	別合^{※2} %	主な資格・検定等	2級建築士受								
中途退学の現状	■中途平平原 中 家 事 明 ガイ	退学者 成27年5月1日 成27年5月1日 成28年3月31日 退学の主な理 まを継ぐため 防止のための グダンス カウン ttp://www.aso	1 在学者 主由 取組 レセリン	名 グ 学	151 名(150 名(生·保護者·担		名を含	卒業者	・を含む) ・を含む)					

- ※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。
- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- (「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)
- ※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料, 賃金, 報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが, 家事手伝い, 臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。また、広く建築業界の動向や求められる知識レベルを把握するためお客様アンケートを実施し、現場の求めるニーズを確実に捉え、本校の授業内容やカリキュラムに反映する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

	1 770= 1 071 - 1 201
名 前	所 属
田中 靖雄	株式会社 エヌ・アンド・シー 管理本部長
照井 善明	NPO FUKUOKAデザインリーグ 運営委員
太田 昌宏	愛知産業大学 准教授
竹口 伸一郎	麻生建築&デザイン専門学校 校長
熊野 学	麻生建築&デザイン専門学校 校長代行
今泉 清太	麻生建築&デザイン専門学校 主任
徳田 美穂子	麻生建築&デザイン専門学校 教員
稲吉 大樹	麻生建築&デザイン専門学校 教員

(開催日時)

平成27年度 第1回 平成27年7月10日 15:30~16:30

平成27年度 第2回 平成27年10月16日 15:30~17:00

平成28年度 第1回 平成28年7月1日 予定

平成28年度 第2回 平成28年10月28日 予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等とのヒアリング及びお客様アンケートの情報に基づき、将来技術者(建築士など)として活躍するために、学んだ知識やCAD等の技術、コミュニケーション能力等の実務適応能力の確認をおこなうことを目的とする。

現場で活かされる実習を通して、必要な創造力や発想力を養っていく。

科目名	科目概要	連携企業等
建築図学 I	立体・空間の作図と模型制作の演習を通して空間把握能力を養う	石原パースデザイン
建築図学Ⅱ	立体・空間の作図と模型制作の演習を通して空間把握能力を養う	石原パースデザイン

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「職員研修規程」に基づき計画的に教員を研修に参加させる。研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

4. 学校関係者評価 (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

	一次20年3万1百死1
名 前	所 属
尾ノ上 由美	H28年度 建築工学科在校生 保護者
尾ノ上 一輝	H27年度 建築工学科 卒業生
川藤 勝治	博多区博多駅南2丁目4区自治会 自治会長
高木 秀樹	株式会社 九州住宅リフォーム 代表取締役
横山 猛	株式会社 九州三田技術コンサルタンツ センター長
高﨑 強	株式会社 久米設計 主管
戸田 康仁郎	株式会社 大設計 総務部長
田中 靖雄	株式会社 エヌ・アンド・シー 管理本部長
三並 恒功	株式会社PBM CEO
上原 淳司	株式会社 ダイキエンジニアリング 人事部長
重枝 武司	福岡県立福岡工業高等学校校長
太田 昌宏	愛知産業大学 准教授

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka act.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.asojuku.ac.jp/ (学校法人麻生塾ホームページ)

http://www.asojuku.ac.jp/act/(麻生建築&デザイン専門学校ホームページ)

授業科目等の概要

		_	課程建築工学	科)平成28年度											
	分類	Į						授	業方	法	場	所	教	員	
必修	択必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数	講義	演習	実 習	校内	校 外	専任	兼任	企業等との連携
0			建築設計製図 I	設計製図の基本の習得する(線・文字の基本的な描き方と建具等の表示記号の理解) 木造建物、鉄筋コンクリート造の製図法を 習得する	1 前	90	6		0	12	0		0	0	
0			建築計画 I	主に建築計画の基本となる住宅について学ぶ。また建築を設計するうえで基本となるスケール感覚を身につけ、人間が生活する空間を学ぶ。	1 前	30	2	0			0		0	0	
0			建築構造力学 I	「建築力学の基礎概念である力・力のモーメント」「力のつり合いなどの静力学の基礎」「静定構造物の反力・応力の求め方」 「トラス構造の解析方法」について学ぶ	2 前	30	2	0			0			0	
0			建築一般構造 I	木造建築物の構造を理解し、必要な部材名 及びその役割を理解し基礎知識を身につけ る。	1 前	30	2	0			0			0	
0			建築材料 I	建築材料のうち、構造材料である木材料、 コンクリート材料の性質について、学ぶ	1 後	30	2	0			0			0	
0			建築材料Ⅱ	建築材料のうち、構造材料であるコンク リート材料、金属材料(鋼材)の性質につ いて学ぶ	2 前	30	2	0			0			0	
0			建築施工 I	請負契約から工事計画・工事管理まで学習 する。また、各種工事についての知識を習 得する。	1 後	30	2	0			0			0	
0			建築法規 I	基本となる建築基準法を中心に学習し、建 築物の設計等を行う際の最低の基準を学 ぶ。	1 前	30	2	0			0		0		
0			建築設計製図 Ⅱ	小規模住宅設計を課題として建築計画と設 計製図の基礎を習得する。	1後	90	6		0		0		0		
0			トータルコ ミュニケー ション I	自己表現やプレゼンテーション技法を学 ぶ。コミュニケーション技法やプレゼン テーション技法について学ぶ。	1 前	30	2	0			0		0		
0			トータルコ ミュニケー ションⅡ	自己表現やプレゼンテーション技法を学 ぶ。コミュニケーション技法やプレゼン テーション技法について学ぶ。	1 後	30	2	0			0		0		

0		ビジネスマ ナー I	ビジネスに必要な基本的な知識の習得を目 指す。	2 前	30	2	0		0		0	
0		ビジネスマ ナーⅡ	ビジネスに必要な基本的な知識の習得を目 指す。	2 後	30	2	0		0		0	
0		P C演習 (Excel)	Excel 2013の基礎知識と基本操作を習得する。 情報リテラシーを身につける。	1 前	30	2		0	0		0	
0		P C演習 (Word)	Word2010の基礎知識と基本操作を習得する。 情報リテラシーを身につける。	1 後	30	2		0	0		0	
0		福祉住環境	高齢化社会に対応できる福祉住環境コー ディネーターの知識と習得	1 前	30	2	0		0		0	
0		JWCADI	建築設計について基本的な考え方について 学ぶ Jw-CADの基本操作・各種設定・作図技術・ 印刷方法の習得	1 前	60	4		0	0		0	
0		JWCADI	建築設計について基本的な考え方について 学ぶ Jw-CADの基本操作・各種設定・作図技術・ 印刷方法の習得	1 後	60	4		0	0		0	
0		建築図学 I	立体・空間の作図の演習を通して空間把握 能力を養う。	1 前	30	2		0	0		0	0
0		建築図学Ⅱ	立体・空間の作図の演習を通して空間把握 能力を養う。	1 後	30	2		0	0		0	0
0		GCBI	志をもった人材を養成するための麻生独自 の教育。	1 前	15	1	0		0	0		
0		GCBI	志をもった人材を養成するための麻生独自 の教育。	1 後	15	1	0		0	0		
0		AutoCA DI	AutoCADの基本操作・各種設定・作図技術・ 印刷方法の習得。	2 前	60	4		0	0		0	
0		AutoCA DII	AutoCADの基本操作・各種設定・作図技術・ 印刷方法の習得。	2 後	60	4		0	0		0	
0		建築計画Ⅱ	公共建築のうち教育施設(幼稚園、小中学 校等)や外部空間、自然環境と建築の関係 等を学ぶ。	1 後	30	2	0		0		0	

0	建築計画Ⅲ	建築として主に公共建築について学ぶ。特に図書館、美術館、コミュニティセンター等の社会教育施設や少子高齢化社会に向けて医療施設、福祉施設について学ぶ。	2 前	30	2	0		0		0
0	 建築環境工学 	建築環境工学の基礎的な知識として、熱、 光、空気、音の分野について学習し、知識 の習得を行う。	2 後	30	2	0		0	0	
0	建築設備	各種建物の特長と建築設備の関わり、空気 調和、給排水、衛生、電気等の各種建築設 備における基本的な事項と考え方について 解説する。	2 後	30	2	0		0		0
0	 建築構造力学 Ⅱ	「静定構造物の応力の求め方」「トラス構 造の解析方法」について学ぶ	2 後	30	2	0		0		0
0	建築構造力学	不静定構造を対象として、応力度・ひずみ度の算定、材料の性質、許容応力度設計の考え方、断面の性質などについて学び、不静定梁のたわみと断面力算定、たわみ角法および固定法による不静定骨組の断面力算定法などについて学ぶ。	3 前	30	2	0		0	0	
0	建築一般構造	鉄筋コンクリート構造の基本的な構造を理解し、その構造形式の特徴について学ぶ。 鉄骨構造の構造形式などの特徴や部材の設計方法について学ぶ	1 後	30	2	0		0		0
0	建築施工Ⅱ	鉄骨造、各種仕上げ工事などに関する要点 を習得する。	2 後	30	2	0		0		0
0	建築法規Ⅱ	基本となる建築基準法を中心に学習し、建 築物の設計等を行う際の最低の基準を学 ぶ。	1 後	30	2	0		0		0
0	建築法規Ⅲ	基本となる建築基準法を中心に学習し、建 築物の設計等を行う際の最低の基準を学 ぶ。	2 前	30	2	0		0		0
0	3 D C A D I	建築設計や建築生産に必要な3次元図面の 作成技術を通して、多角的な設計技術など を学ぶ。	3 前	60	4		0	0		0
0	3 D C A D II	建築設計や建築生産に必要な4次元図面の 作成技術を通して、多角的な設計技術など を学ぶ。	3 後	60	4		0	0		0
0	建築設計製図皿	店舗併用住宅を設計することで、企画・計画・設計の段階、建築物が完成するまでの 過程を学習する。	2 前	90	6		0	0	0	
0	建築設計製図IV	特殊建築物(共同住宅など)を課題として、実際の敷地を見学し事例収集などを含めた調査から地域に相応しい建築計画・建築設計のプロセスを学ぶ。	2 後	90	6		0	0	0	
0	造形学 I	建築の構成要素を考えながら、模型等の製 作等において美しい形態を造形する。	1 前	60	4		0	0		0

				l	1							
0	造	形学Ⅱ	建築の構成要素を考えながら、模型等の製作等において美しい形態を造形する。	1 後	30	2		0	0			0
0		otoshop • Iustrator	IllustratorとPhotoshopの基本操作を習得 し Photoshop 、Illustratorを使用して作 品を製作する。	2 前	30	2		0	0			0
0		otoshop • lustrator	IllustratorとPhotoshopの応用操作を習得し、Photoshop、Illustratorを使用して作品を製作する。	2 後	30	2		0	0			0
0		般教養 I	一般常識及びSPI対策を行う。	2 後	30	2	0		0			0
0	— J	般教養Ⅱ	一般常識及びSPI対策を行う。	3 前	30	2	0		0			0
0	就	職実務IA	就職をするということ、さまざまな雇用形態と働き方、求められる人材像を考えながら仕事について、働くことについて考えていく。	2 前	30	2	0		0	0	0	
0	就	職実務IB	就職をするということ、さまざまな雇用形態と働き方、求められる人材像を考えながら仕事について、働くことについて考えていく。	2 後	30	2	0		0		0	
0	建氰	築計画IV	建築として主に商業施設の計画について学ぶ。特に事務所ビル、劇場・音楽ホール、 百貨店・スーパーマーケット、駐車場等に ついて学ぶ	2 後	30	2	0		0			0
0	建	築計画V	主に都市デザイン、まちづくり、都市計画 制度、都市・都市計画史について学ぶ。	3 前	30	2	0		0			0
0	建氰	築施工Ⅲ	建築物の設計図面や仕様書等の設計図書を もとに建築物の各部材の材料とその数量を 求める。各材料の単価を把握し建築物の建 築工事費の算出方法を学ぶ。	3 前	30	2	0		0			0
0	就	職実務ⅡA	各学生の就職活動の支援。履歴書の書き方 や面接の受け方等を、個別にサポートしま す。	3 前	30	2	0		0		0	
0	就」	職実務ⅡB	各学生の就職活動の支援。履歴書の書き方 や面接の受け方等を、個別にサポートしま す。	3 後	30	2	0		0		0	
0		otoshop • Iustrator	IllustratorとPhotoshopの応用操作を習得 し Photoshop 、Illustratorを使用して作 品を製作する。	3 前	30	2		0	0			0
0		築士対策 計画)	二級建築士の学科試験の学科 I (計画) を 学ぶ	3 後	30	2	0		0			0

0		建築士対策 (法規)	 二級建築士の学科試験の学科 II (法規) を 学ぶ	3 後	30	2	0		0		0
0		建築士対策(構造)	二級建築士の学科試験の学科Ⅲ(構造)を 学ぶ	3 後	30	2	0		0		0
0		建築士対策(施工)	二級建築士の学科試験の学科IV(施工)を 学ぶ	3 後	30	2	0		0		0
0		建築士対策 I (製図)	二級建築士の設計製図課題レベルのエス キース・製図能力の習得	3 後	60	4		0	0		0
0		建築士対策 Ⅱ (製図)	二級建築士の設計製図課題レベルのエス キース・製図能力の習得	3 後	60	4		0	0	0	0
0		インテリア コーディネー ション	住宅内装計画の設計・プレゼンテーション 技法を学ぶ。	2 前	30	2	0		0		0
0		オリエンテー ション	挨拶・マナーの重要性を伝え、社会人とし て必要なことを理解し行動することを目指 す。	1 前	30	2	0	Δ	0		0
0		キャリア教育 I	自分のキャリア像について考える。	2 後	30	2	0		0	0	0
0		キャリア教育 Ⅱ	各学生のキャリア発達を支援し、キャリア を形成していくために必要な意欲・態度や 能力を育てる。	3 前	30	2	0		0	0	0
0		キャリア教育 Ⅲ	社会人として必要な心構え・マナーを再確認する。就職意識、社会人としての自覚を 持つ。職場で大切な行動を学ぶ	3 後	30	2	0		0	0	0
0		専攻ゼミI	都市空間コース、住宅空間コース、施工管 理コースの中から選択可能なゼミ形式授業	3 前	90	6	0	Δ	0		0
0		専攻ゼミⅡ	都市空間コース、住宅空間コース、施工管 理コースの中から選択可能なゼミ形式授業	3 後	90	6	0	Δ	0		0
0		卒業制作	本校における学びの集大成としてその成果 をまとめる。	3 後	90	6	Δ	0	0		0
0		検定対策ゼミ A	各種検定対策授業の実施	2 前	60	4	0		0		0

	0	検定対策ゼミ B (選択)	各種検定対策授業の実施		2 後	30	2	0			0			0	
合計									2	700	単位	時間	引(18	30单位	立)

卒業要件及び履修方法	授業期間	等
最終学年の終了時において、履修すべき全授業科目(実習を含む)に合格し、当該学年における単位数を取得していること。 出席率が当該学年の出席時間数の90%以上であること。	1 学年の学期区分	2期
国土交通省が定めた規定の時間を満たした者。 学生としてふさわしい生活態度であること。 上記基準を満たせない者は、他の成績科目、出席状況などを参考に卒業判定会議により判定する。	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。